



## 学校だより 第1号

平成31年4月8日

<http://www.komae.ed.jp/jh/04/>

### 全校生徒 245 名で新年度がスタートしました

校長 猪瀬 政幸

3月に105名の卒業生が多くの感動と共に四中を巣立ち、そして新たに新入生81名を迎え、3年生87名、2年生77名と合わせて245名でのスタートとなりました。入学式では、2、3年生による合唱「大地讃頌」が体育館に響き渡りました。それは、一つずつ学年が上がった四中生の成長を感じさせる歌声でした。また、1年生の態度も立派でした。平成の時代も残りわずか、社会の変化にともない学校教育も大きく改革することが求められています。次の時代に向かって、「この子たちなら、四中の良き伝統を継承し、さらに進化させてくれる」という期待ができる、そんな入学式でした。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

#### 「入学式 校長式辞」※一部抜粋

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心からお祝いし、歓迎いたします。

本校では、「自立」「連帯」「健全」という教育目標のもと、先輩達が、伝統を創り上げてきました。皆さんもここにいる二・三年生を見習い、一人一人が主役となって活躍してくれることを期待しています。

中学校での三年間は、長い人生にあって、何ものにも代えがたい大切な、そして、貴重な三年間です。そのスタートにあたり、皆さんに心がけてほしいことを三つお話したいと思います。

一つ目は、「自分も友だちも大切にすること」です。

皆さんには、一人一人、違った個性があり、違った考え方や歩み方があります。自分とは違うからと否定せず、その個性や歩み方をお互いに認め尊重してください。そして、自分も持っている良いものを伸ばし、友だちの優れているところに学ぶ、という心構えで、お互いに学び合い、高め合うことの出来る友だち関係をつくって欲しいと思います。

また、つらい思いをしている人の心に気付き、共感し、時には手をさしのべる、思いやりや、やさしい心をもった人になってください。

二つ目は、「失敗を恐れず挑戦すること」です。

皆さんは「失敗することは悪いこと」だと思いませんか？失敗すると「恥ずかしい」、「人に迷惑をかけるんじゃないか」とついつい考えてしまいますね。しかし、たとえ失敗したとしても、恥ずかしいと感じるのは一瞬だけです。一度や二度、だめだただけであきらめてしまうのはもったいなくありませんか？

スポーツだって、はじめはできなかったことを何回も繰り返し練習して、やっとできるようになるから楽しいのです。つまり、失敗は悪いことではなく、成長するために必要なことなのです。

失敗を恐れず何事にも挑戦してください。失敗を恐れてやらないということは、その先にある楽しさや喜びにも出会えないということです。

三つ目は、「人を笑顔にさせること」です。

「人間は、楽しいから笑うのではなく、笑顔になると“楽しい”という感情が生まれる」ということが科学的に証明されています。

「笑う門には福来たる」ということわざがありますが、まさに笑顔でいると幸せがやってくるのです。

ですから、どんどん周りの人を笑顔にして、その人を幸せにしてあげてください。面白いことを言って笑わせるのもいいでしょう。朝、「おはよう」と元気に声をかけたり、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えるだけでも、相手は笑顔になります。そうやって相手に喜んでもらうと、自分自身も幸せを感じることでしょ。

四中には笑い感動に包まれるような行事もたくさんあります。皆さんの力で、笑顔があふれる、幸せいっぱいな学校にしていきたいと思います。